

金賞 臼井 寛弥君

釧路工業高等専門学校建築学科 孤独死0(ゼロ)のまち

釧路川のほとりを舞台とし、孤独死という社会問題の焦点を当てた作品である。高齢者の生活と地域の関わりが少ないこと、地域に活気がないこと、これらを解決するという強い目的意識を基軸とし建築が構成されている。都心居住と商店街との複合は発想しては単純であるが、「小規模多機能ホーム」という生活支援の場やオープンスペースをつくり、裏通りでこれらの交流の場を巧みに結びつけている。分節された機能は柔らかい曲線を持つ大きな屋根で覆われており、建築全体に優しい表情を与えている。問題意識から目標の設定、解決方法が優れており、建築としても破綻なく綺麗にまとめられていることから金賞に値すると評価した。

(文責：菅原 秀見)

